



新宿山吹だよりは、保護者の皆さんにも読んでもらって下さい。

インクルーシブな社会を築く

校長 永浜 裕之

毎日新聞論説委員の「野澤 和弘」さんから伺った話です。

野澤さんは、障害がある方たちとインクルーシブな社会を作っていくため、多大な貢献をされている方です。

ある日、警察官向けのマニュアルを作り、警察庁に持って行ったそうです。「こういうものを我々は作りました」「アメリカではこんな取組をしています。日本でも一緒にやりましょう」と持ちかけました。喜んでくれたのですが、忙しいためか、乗り気になってはくれません。最後のチャンスと考え、あらためて警察庁に行った時のことです。「また来たのか」のような顔もされましたが簡単には引き下がれません。「どうして分かってくれないのですか」「日本では障害者が酷い目に遭っていますよ」と強く言ったそうです。すると、難しい顔をして、辛そうに目をつぶっていた幹部の1人が急に眼を見開き、「分かった、やろうじゃないか」と、力強く言ってくれたのです。

その幹部は、三重県警から出向してきた方でした。三重県警に戻るようになった時、新橋の安い居酒屋で送別会を開きました。野澤さんは、「あなたのおかげで警察の方の障害者理解が進みました。どうして急にやる気になってくれたのですか」と尋ねたそうです。

彼は、「私には兄と妹がいたが、どちらも重度の脳性麻痺で、生まれてからずっと寝たきりだった。」と言います。「三重の田舎で、当時は養護学校（特別支援学校）も義務制ではなく、学校にも通っていない。天気の良い日は、お母さんが縁側に布団を並べて敷き、お兄ちゃんと妹を日向ぼっこさせていた。すると、近所の子供達が目白がって覗きに来る。脳性麻痺でほとんど動けず、ぐたつとしたような兄と妹の様子を見て笑うんだ。『お前の家には骨のない人間がおるのか。お前の兄ちゃんは骨なし人間か。骨なし、骨なし』とはやし立てる。それがとても辛くて、傷として残っている。」と話します。

「よく家族旅行をした。兄と妹はずっと寝たきりなので、いい景色を見せたい、いい空気を吸わせたいということで、両親はいろんな所に連れて行ってくれた。私が高校生の時も景勝地に家族で行き、車を止め、大きくなったお兄ちゃんと妹を両親が背負い、よたよたしながら車から降りて景色を見せてあげていた。それを他の観光客がちらちら見るんだ。高校生になった私はその視線に足がすくんでしまい、車から降りられなかった。降りられないどころか、車の中で小さくなって身を隠していた。ガラス窓越しに、よたよたしながら遠ざかっていく両親の背中、背負われている兄と妹の背中を、じっと見つめることしかできなかったんだ。そのことが、とげとなって残っている。同じ兄弟なのに、同じ家族なのに、どうして一緒に歩くことすら自分にはできないのだ。どうしていつまでも、老いた両親に兄と妹を背負わせているんだ。」と考えたそうです。

野澤さんは言います。自分で自分を責める気持ちをバネにして、高校を卒業した後に彼は警察官になり、真面目一徹で勤め上げたそうです。その勤務ぶりが認められて、警察庁への出向を命じられた。多分、彼の人生の中で一番輝かしい時だったのじゃないかと思えます。その時に見ず知らずの我がが訪ねてきて、「日本じゃ障害者はこんなひどい目に遭っているじゃないか。何で日本の警察は障害者の事について無関心なのだ。アメリカじゃこんなに、いい警察官がいるじゃないか」などと言うわけです。今思うと、彼はいつも辛そうな顔をして下を向いていました。「辛かった。あなたたちに責められているような気がした」と彼は言いました。

「一番よく分かっているのはこの俺だ。俺がやらなきゃいけない」と思ったそうです。「警察官になって20年、30年が過ぎようとしているのに、一体あなたは何をやっているんだ。そういうふうに使われているような気がした。」と言う彼に、「本当にすみませんでした。」と謝ると、「いや、そうじゃない。謝らないでくれ。ここで引き受けられなかったら一生後悔するところだった。ありがとう。」と言ってぼろぼろと泣きました。

「お兄ちゃんと妹さんはどうされているのですか」と聞いたら、やはり体が弱いものですから、40位で相次いで亡くなってしまったそうです。ずっと家族の中だけで暮らしていたので葬儀に来てくれる人も少なく、寂しいお葬式で、火葬場でお兄ちゃんが煙になっていくのを見て涙が止まらなかったそうです。そして、生まれてから一度も自分と言葉を交わしたことの無い兄だったけれども、自分を守ってくれたのは兄だったのではないかと。自分にいろんなことを教えてくれたのは兄だったのではないかと。そんな思いが込み上げてきて、体の震えが止まらなかったそうです。

他の窯からも煙が昇ってくる。それを見ていたらみんな同じ形をしていることに気が付いたそうです。野澤さんは「形ですか」と聞き返します。「生きている時には一人一人、姿形が違いますが、死んで空に帰っていく時には、みんな同じ形の煙となって帰っていくのだと思えた。小さい時には、『骨なし人間、骨なし人間』って、子供達に馬鹿にされたお兄ちゃんだったけれども、死んで空に帰っていく時には、隣の人と同じ形をしていた。それがとっても嬉しかった。」。そう彼は言いました。

野澤さんは言います。「私は様々な取組をやってきて、砂漠にジョウロで水を撒いているような気になったことがあります。でも、こういう宝物のような警察官と巡り合えて、本当にやってきて良かったと思います。様々な障害のある子供の保護者にこの話をすると、本当に喜んでくれます。やっぱり親はみんな悩みを抱えているのです。親亡き後の不安。自分が生きている時には何としても子供を守っていますが、自然の摂理では自分が先に死んでいく。この子をこの社会にどうやって残していくのだと、皆、不安に思っています。その時にこういう警察官が一人でもいるということが、どれだけ保護者に希望をもたらすか、ということなんです。」

令和6年度の生徒会(定時制課程)

5月1日(水)に開催された生徒総会において、令和6年度 定時制課程 生徒会役員が決定しました。

今後は、5月～7月には球技大会の計画、立案、実施、9月～12月は文化祭への協力、12月～2月は、地域合同防災訓練や部活動紹介の準備に取り組んでいきます。また、学校説明会においては、中学生とその保護者に校内を案内したり、説明をしたりします。そのほか、毎週曜日を決めて、お昼に定例会を生徒会室で実施します。生徒会役員同士の話し合いの中で、新たな活動を加える可能性もあります

今回、新たに生徒会役員に選ばれた皆さんに、着任のあいさつ等を書いてもらいました(敬称略)。

生徒会長 J24 坂下 李々

この度生徒会会長に着任しました、情報科2部4組の坂下李々です。私が目指す生徒会の在り方は、「クリーンな生徒会」です。これには2つの意味があります。

1つは、学校を綺麗に保つ為に工夫をしていくという意味です。学校は皆が使う共有スペースです。校内にいる全員がより気持ちの良い生活を送れるようにアイデアを打ち出します。もうひとつは、生徒会活動を清く進めていくという意味です。生徒の皆さんを陰で支える存在でありながらも、活動内容をしっかり引き継ぎ、今までよりもさらに正しい生徒会でありたいと思っています。会長として精一杯努めます。よろしくお祈りします！

生徒会副会長 J25 雨貝 にこ

こんにちは。この度生徒会副会長に就任しました情報科2部5組の雨貝にこです。初めての生徒会活動ということもあり皆さんの手を借りることもあるかと思いますが、生徒会の活動に真摯に取り組むのでどうかご協力お願いします。皆さんと、より良い快適な学校生活が送れるように精一杯頑張ります。

生徒会副会長 F21 石丸 心

この度生徒会副会長を務めさせていただきます普通科2部1組の石丸心です。演説であったように、ウォルト・ディズニーさんの「現状維持では後退するばかりである」という言葉を胸に日々精進してまいります！今までの生徒会活動の経験や自分自身の能力を活かし全力を尽くしてまいりますので、1年間よろしくお祈りいたします。

生徒会会計 J23 藤井 彩寧

この度生徒会会計になりました情報科2部3組藤井彩寧です。私の抱負は2つあります。藤井彩寧(ふじいあやね)の【じ】自分にできる事を考え、小さな事でも実行するという点と【や、ね】会計という仕事をやりぬく熱意を強く持ち仕事に取り組むという事です。一年間よろしくお祈りします！

生徒会会計 F31 柳 律希

この度生徒会会計になりました普通科3部1組の柳律希です。生徒の皆さんに選んでいただいたからには、会計としてできる仕事、生徒会役員としてできる仕事、そのどちらにも責任を持ち全力で取り組んでいきます。この1年、生徒の皆さんに寄り添える会計として尽力します。1年間よろしくお祈りします！

生徒会書記 J23 瀬田 怜愛

この度生徒会書記に着任しました情報科2部3組の瀬田怜愛です。みなさまの期待に応えることができるように精一杯頑張っていきます。私は今回初めての生徒会なので先生や昨年度生徒会を経験した仲間のサポートを受けながら少しずつ色々なことを学んで学校をより良くしていきたいです。1年間よろしくお祈りします。

生徒会書記 F11 清水 桜優菜

この度、生徒会書記になりました普通科1部1組の清水桜優菜です。自分自身が生徒会のみなさんに助けてもらった経験、中学生の時に生徒会として活動してきた経験を活かして活動します。山吹生のみなさんが快適に過ごせる環境を作っていくように精いっぱい頑張っていきたいです。

定時制課程 学校行事予定

6月10日(月) 前期中間考査(終)
教育実習(本校卒業生4名)開始
11日(火) 体力テスト(始)
避難訓練
13日(木) 自己探索学習②
17日(月) 体力テスト(終)
21日(金) 上級学校授業体験
「人間と社会」演習
28日(金) 教育実習(本校卒業生4名)終了

通信制課程 学校行事予定

6月6日(木) 校内レクリエーション
8日(土) スクーリング1-6
15日(土) スクーリング1-7
避難訓練
22日(土) スクーリング1-8
29日(土) スクーリング1-9